

子ども読書活動推進のための活動目標

【令和6年度版】



中野市教育委員会・中野市子ども読書活動推進連絡会議

活動目標の趣旨

市では、更なる子どもの読書活動の定着を実現するため、平成 29 年に「第 3 次中野市子ども読書活動推進計画」（以下「推進計画」という。）を策定しました。

活動目標は、前年度における推進計画の実施状況調査アンケートで得られた結果に基づいて、子ども読書関係機関で重点的に取り組んでもらいたい施策を設定したものです。

子ども読書関係機関では活動目標を参考に、今年度の子どもの読書活動を推進していただきますようご協力をお願いします。

※実施状況調査アンケートは、中野市子ども読書活動推進連絡会議が令和 6 年 3 月に、市内の子ども読書関係機関に対して実施したものです。

活動目標の対象

活動目標の対象となる子ども読書関係機関は、下記の 4 か所です。

- ① 子育て支援センター・児童センター・放課後児童クラブ（P.2）
- ② 幼稚園・保育所・認定こども園（P.3）
- ③ 小・中学校（P.4）
- ④ 市立図書館（P.5）

中野市子ども読書活動推進連絡会議による推進計画の実施

中野市子ども読書活動推進連絡会議は、推進計画を効果的に進めるため、読書ボランティア、教育、保育、子育て支援及び図書館関係者、公募に応じた市民の合計 15 名の委員で組織されている会議です。

毎年度、推進計画がどのくらい達成されたか、子ども読書関係機関にアンケート調査を実施し、会議で調査結果に基づいて、成果や課題を検討・協議し、次年度に重点的に取り組んでもらいたい施策を活動目標として設定します。

実施状況調査結果と活動目標

① 子育て支援センター・児童センター・放課後児童クラブ（12 施設）

【アンケート結果】

質問項目	実施状況	
	実施	未実施
地域での読み聞かせの推進	1	11
家庭での子ども読書活動の推進	12	0
読み聞かせボランティア情報や読み聞かせイベント情報の発信	12	0
家庭での子どもの読書活動推進に向けた普及・啓発活動	12	0

・職員による読み聞かせを中心に行い、地域やボランティアでの読み聞かせ事業は行わなかった施設と、読み聞かせボランティアによる読み聞かせを実施する施設があった。

【令和5年度活動目標の実施状況】

(1) 地域での読み聞かせの推進

読み聞かせボランティアによる読み聞かせ、図書館司書による読み聞かせを実施した。

(2) 家庭での子どもの読書活動の推進に向けた普及・啓発活動

施設内での読み聞かせの時間を日常的に設け（月1回程度）、本の楽しさを知ってもらう。
本に親しみ、楽しんで見れる機会を作り、読み聞かせの大切さを伝えた。

【令和6年度の活動目標】

(1) 地域での読み聞かせの推進

施設の中で、職員や読み聞かせボランティア等による読み聞かせを実施して、おはなしや本に親しむことができる機会を作りましょう。

(2) 家庭での子ども読書活動推進に向けた普及・啓発活動

施設での読書活動の様子や本の面白さ、大切さをおたより等で伝え、家庭に向けて読書活動の普及・啓発を行うようにしましょう。

② 幼稚園・保育所・認定こども園（12 園）

【アンケート結果】		
質問項目	実施状況	
	実施	未実施
おはなしの楽しさを知る機会の充実	12	0
家族への読み聞かせに関する情報の発信	10	2
読書スペースや蔵書の整備・充実	11	1
家庭への絵本の紹介や貸出	9	3
市立図書館との連携による子どもの読み聞かせ等の環境づくり	11	1
・年齢や季節にあわせた絵本選びをしている。 ・一日の保育の中で読み聞かせの時間を作っている（午睡前、午後のおやつ時間後）など、本に親しむ環境を整えている。 ・団体貸出や図書館訪問、図書館司書の読み聞かせなど、図書館と連携が図られている。		
【令和5年度活動目標の実施状況】 ・家庭への絵本の紹介や貸出 おたより配信の中で、読み聞かせの際の子どもたちの様子を伝えている。 施設から「図書館だより」を発行し、子どもたちの好きな絵本を紹介したり、図書館司書の方が読んでくれた絵本の紹介等を行った。		

【令和6年度の活動目標】

- ・家庭への絵本の紹介や貸出

図書館等からのおたよりのほかに、各施設から発行されるおたよりで絵本の紹介や、読み聞かせの様子を写真で伝えるなど、読み聞かせの大切さを伝えましょう。また、家族の方も本を手にとって読むことができるような環境をつくりましょう。

③ 小・中学校（11 校）

【アンケート結果】		
質問項目	実施状況	
	実施	未実施
「一斉読書」や「読書時間」による読書習慣の確立	10	1
学校図書を利用した学習活動の充実	11	0
学校図書館の読書スペースや蔵書の計画的な整備	11	0
読書指導（読み聞かせやブックトーク等）の充実	11	0
「家庭読書週間」※をととした家庭での読書の推進	9	2
研修会の実施	11	0
・「一斉読書」や「読書時間」を行い、本に親しむための時間を設けていた。 ・読書旬間中は、図書委員や職員による読み聞かせやブックトークを実施した。 ・必要な書籍の購入や除籍を行った。		
【令和5年度活動目標の実施状況】		
(1) 読書指導（読み聞かせやブックトーク等）の充実		
教職員やボランティアによる読み聞かせのほか、ブックトークを実施するなど、学校ごと特色のある推進活動が実施された。		
(2) 「家庭読書週間」※をととした家庭での読書の推進		
読書旬間期間中に親子読書カードを配布し、親子で読書に親しむ取り組みを実施した。		
生徒のタブレットにデータを配信するなど、各学校で工夫が見られた。		

【令和6年度の活動目標】

(1) 「一斉読書」や「読書時間」による読書習慣の確立

児童や生徒の読書習慣を一層定着させるため、「一斉読書」や「読書の時間」の継続実施に努めましょう。

(2) 「家庭読書週間」※をととした家庭での読書の推進

「家庭読書週間」や学校独自の読書旬間など読書活動に関する期間の実施をととして、家庭でも読書の必要性を理解してもらい、児童・生徒が家庭でも進んで読書をする意識を持てるように努めましょう。

※【家庭読書週間】 市では独自に、毎月 23 日を含む日曜日から土曜日までの一週間を、家族で読書活動に取り組んでもらうため「家庭読書週間」を実施しています。

④ 市立図書館

【アンケート結果】	
質問項目	実施状況
子どもの読書を支える人の育成や支援	実施
団体貸出の充実	実施
蔵書の充実	実施
子ども向けの読書スペースの充実・整備	実施
「おはなし会」や「読み聞かせ会」の開催及び支援	実施
関係施設や県立図書館との連携による子ども読書活動推進事業の展開	実施
子ども読書活動の広報・啓発活動	実施
活字による読書が困難な子どもへの支援	実施
「ブックスタート事業」による読み聞かせの推進	実施
・団体貸出 利用団体数：33 団体 利用冊数：5,181 冊 ・「どこでも図書館」 参加団体 11 団体 貸出冊数 200～300 冊 ・令和5年度児童書購入冊数（全館）：1,044 冊 ・0～3歳のおはなし会 実施回数：48 回 参加人数：260 人 ・0～3歳えほんの時間 毎月1回（全12回） 参加人数 26 人 ・季節に合わせたおはなし会（夏休みこわい話、あったか冬、春のおはなし会） 参加人数 63 人 ・図書館見学及び読み聞かせ 実施回数：9回 参加人数：102 人 ・絵本読み聞かせ出前事業（14 園） 実施回数：48 回 参加人数：3,989 人 ・「デジとしよ信州」への参加 ・子ども読書週間期間中に「こどものとしょかんまつり」を開催した。 ・サピエ図書館へ登録し、全国の図書館等で所蔵する障がい者向け朗読CDや点字図書の貸出 ・中野市子ども読書活動推進連絡会議で発行したリストの本を集めたコーナーを設置した。 ・ブックスタート事業 ファーストブック（毎月1回） 実施回数：12 回 参加人数：221 人 セカンドブック（毎月1回） 実施回数：12 回 参加人数：262 人 ・育児教室（8から10か月児対象）への参加 全8回 参加人数 78 人	
【令和5年度活動目標の実施状況】	
・「おはなし会」や「読み聞かせ会」の開催及び支援 図書館と子ども読書関係機関、読み聞かせボランティアが連携して、「おはなし会」や「読み聞かせ会」が開催された。また、年齢にあわせた読み聞かせ会を実施した。	

【令和6年度の活動目標】

・「おはなし会」や「読み聞かせ会」の開催及び支援

多くの子どもたちや保護者に対し、おはなしや読書活動に興味をもってもらうための環境の整備や機会を設けられるように努めましょう。

子ども読書活動推進のための活動目標【令和6年度版】

発 行	令和6年6月
発 行 者	中野市子ども読書活動推進連絡会議
編 集 者	中野市教育委員会事務局生涯学習課 生涯学習推進係 (中野市子ども読書活動推進連絡会議事務局)
電 話	0269-22-2111 (内線 423)
ファックス	0269-22-5901
Eメール	shogai@city.nakano.nagano.jp